

概要；

道路ネットワーク整備は、沿線地域の産業のみならず空間的に幅広い範囲へ影響を及ぼす。そのため、ネットワーク整備の優先順位等の意思決定を行う際には、このような空間的な影響の波及状況を考慮にいれることで、地域間バランスに配慮した検討が求められる。さらに、このような現象を定量化することは、道路ネットワーク整備が計画されている地域の地方自治体にとっては、今後の産業政策立案の際の重要な情報源になるものと思われる。

そこで、本稿では、空間的応用一般均衡（SCGE）モデルのひとつである RAEM-Light を用いることで、中国地方の道路ネットワーク整備を対象としたシナリオ分析を行い、地域別の産業特性、ネットワーク特性に応じて空間的な影響の波及状況が異なることを明らかにした。なお、本モデルの特徴は、道路ネットワーク整備と地域経済の産業へ与える影響の因果関係を生活圏レベルのゾーニング単位で明示化することが出来る点にあることから、今後の道州制等地方分権化の流れのなかでブロック単位での施策検討において有効な情報を提供できるものと考えている。